

国際関係コース

コース内演習「卒業研究論文」の提出等について

(2024年3月卒業見込生)

※学部提供演習所属の学生については、本掲示ではなく各学部の指示に従うこと。

国際関係コース内演習を履修し、卒業研究論文の提出を希望する者（学部提供演習履修者は除く）は、以下に定める要領に従って、①卒業研究計画書の提出、②卒業研究論文の提出、③卒業研究口頭試問の受験、という3つのプロセスを適切に行わなければならない。そのいずれかひとつでも書類の未提出や不備があった場合には、卒業研究の単位認定は行われないので十分に注意すること。なお、卒業研究執筆にあたっては、以下の諸点に注意されたい。

- 1) 先行研究についての十分な検討を行うこと。
- 2) 学術論文（卒業研究を含む）の作成に適した資料を使用すること。
- 3) 出典や情報源を注釈などに明示すること。論文に先行研究を利用する場合は、自分が書いた論文のどの部分にどの文献を参照したかを、具体的に「注」で示すこと。その際、その文献のどの部分を参照したかも示すこと。なお、論文に図表を引用する場合は、その図表の直下に出所を示すこと。

① 卒業研究計画書の提出

提出日時: 2023年7月20日(木) 9:00-17:00

2023年7月21日(金) 9:00-17:00

提出先: 教学部

※計画書については所定用紙を国際関係コースのホームページ (<http://www.ir.ryukoku.ac.jp/shorui.htm>) からダウンロードするか教学部窓口で入手して記入・提出すること。

※卒業研究計画書の提出方法については、別途指示する。

② 卒業研究論文の提出

提出日時: 2023年12月7日(木) 9:00-17:00

2023年12月8日(金) 9:00-17:00

提出先: 教学部

※論文については窓口で「受領証」を記入して提出すること。

※論文体裁については「国際関係コース卒業研究論文の体裁について」を参照。

③ 卒業研究口頭試問の受験

実施日時: 2024年1月6日(土) 予定 時間未定(別途掲示)

試問会場: 未定(別途掲示)

※口頭試問の時間と会場については別途掲示する。口頭試問は、主査と副査の2名の教員が卒業研究について試問し、それに対して学生が応答するという形式で行われる。口頭試問を受験して合格しなければ、卒業研究の単位は認定されない所以十分に注意すること。病欠や忌引などの特別な場合を除いて口頭試問を欠席することは認められない(正当な理由で欠席した者については、1週間

以内に教学部に口頭試問再申請手続きを行うこと）。

なお、海外研修制度申請者で卒業研究の提出を希望した者に限り、卒業研究の電子ファイルでの提出と口頭試問のインターネット経由での実施を認めることがある。

国際関係コース卒業研究論文の体裁について

■ワープロ・パソコンを使用の場合

I. 共通規格：A4判（縦置き、横書き）

II. 表紙：記入事項は、指導教員名と提出年度（左上）、論文題目（中央）、学籍番号と氏名（右下）

III. 本文、目次、注、参考文献リスト

①頁設定：1 頁あたり40字×30行（1,200字）

②分量：本文だけで12,000字以上（枚数としては10枚以上）。目次、注、参考文献は別とする。

③目次：表紙の次に独立した頁として設ける。

④注：各頁の下（脚注）か本文最後にまとめる形（後注）でつける。

⑤参考文献：参考文献リストを掲げる場合は、本文の最後に記載する。

⑥外国語による執筆：欧文を使用する場合は本文だけで4,000語以上、中国語の場合は5,000字以上（なお、使用言語については指導教員の指示に従うこと）。

⑦綴じ：表紙と本文は必ず一緒に綴（と）じて提出する。

IV. 提出部数：2 部

■手書きの場合

I. 共通規格：A4判（400字詰原稿用紙、横書き、黒のボールペンまたは万年筆使用）

II. 表紙：ワープロ・パソコンを使用の場合と同じ

III. 本文、目次、注、参考文献リスト

本文が原稿用紙で30枚以上であること以外は、ワープロ・パソコンを使用の場合と同じ

IV. 提出部数：2 部

以 上

教学部